

＜最終回＞「留學生活のまとめ」

石井夏月

こんにちは！約1年間の研修員生活もあっという間に過ぎてしまい、この研修員だよりも今月で最後になりました。

● 1年間のまとめ

最後の研修員だよりということで、1年間を軽く振り返って行きたいと思います！9月から1月の秋学期、いわゆる前期は中国での生活にとにかく慣れようと奮闘した半年でした。お店での物の買い方や支払い方、公共機関の利用の仕方、大学での勉強や寮生活などの全てが新しいことでとても充実した日々を送ることができました。はじめは方言が強い現地の方の言葉を聞き取るのが難しかったためコミュニケーションへの不安が大きかったのですが、会話を重ねるごとにこの不安も少しずつなくなっていきました。



2月から6月の春学期(後期)は、中国人の友達がたくさんできた半年でした。現地の学生ならではの遊びスポットや、ご飯屋さん、お散歩コースなどたくさんの場所へ連れていってもらえることが出来ました。この半年で、語学力を向上させるには間違いを恐れず積極的に中国語を使うことの大切さを改めて知ることが出来ました。前期に比べ中国語を話す機会が増え、私のスピーキング能力もより向上させることができたように感じます。

● 今後の目標

はじめに掲げていた目標は「HSK4に合格する」ということだったのですが、無事に達成することができました。今は1段階上のレベルのHSK5に向けて勉強をしています。研修生活中に、地域によって通じないほど異なる方言に興味を持ったので、今後は中国各地の方言の勉強も少しずつ始めてみたいと考えています。

● **最後に**

長野県派遣研修員として、雲南大学でとても貴重な1年を過ごすことができました。初めての留学生活で何事もなく生活することができたのは、長野県国際交流課の皆さま、雲南省国際協力課の皆さま、雲南大学の先生方をはじめとするたくさんの方々のご支援、ご協力のおかげです。この経験は、私にとってかけがえのない財産です。今回の留学を通じて得たことを活かし、両地域の文化や観光など様々な分野で持続可能な国際交流の実現・人々のつながりを深める架け橋となれるよう努力していきたいです。

この11回の研修員だよりが、より多くの方が中国や雲南省について興味を持つきっかけとなれば幸いです。1年間ありがとうございました！